

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	衆議院議員選挙事業			会計	款	項	目	大	小
				01	02	04	03	02	01
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行財政運営（行政の充実）		主管課	選挙管理委員会事務局				
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課長	斉藤 昌克				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	当日有権者	意図	衆議院議員選挙の執行を適正に行う。
事業内容	衆議院議員選挙の執行にあたり、投開票事務に誤りがないよう、適正な執行と管理を行う。選挙人が投票しやすい環境を整える。			
事業開始から現在までの状況変化	平成29年9月28日に衆議院が解散し、平成29年10月22日に衆議院議員総選挙が執行された。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	当日有権者数			149729	人	→→	
②	投票率			55.38	%	↑↑↑		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・9月28日に解散、10月22日に選挙と期間が短い中での準備となった。 ・区画整理事業の進展により有権者数が増加傾向にある。 ・選挙人の利便性を考慮し、有権者数が著しく増加傾向にあった投票区の分設を行い、投票所の新設を1箇所行った。 ・投票率は、前回比△0.58ポイントとなっている。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				58,104,499				
事業費(b)(円)				55,721,629				
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)				2,382,870				
人役・職員(人)				0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)				0.33				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	突発的な解散による総選挙であるため、選挙を適正に執行する。	③取組の課題	投票日当日の荒天予報により、期日前投票所の利用者が増加した。そのため、各期日前投票所が混雑し、投票までに時間を有することとなった。
②今年度(H29)に実施した取組	短い期間での準備、執行となったが、自治会や指定管理者、職員等の協力により、無事に選挙を執行することができた。	④今後(H30以降)の改善計画	おたかの森出張所の市民窓口センターへの移転に伴い、次回の統一地方選挙より期日前投票所も移転となるため、選挙人への周知徹底を図る。